〈体育科〉第１学年
単元名　「体ほぐしの運動遊び」

【目指す児童像に迫る手立て】

〈やりたい〉「主体的な学び」を目的とした手だて

〇誰にでもできる易しい運動遊びの選定　　〇忍者修行の設定

〇ICT の活用

〈みんなと〉「対話的な学び」を目的とした手だて

〇学習形態の工夫　　〇休み時間を遊びの時間として活用

〈よし！できた！〉「深い学び」を目的とした手だて

〇運動の日常化　　〇段階的に学習形態を変化

〇１単位時間の流れの確立　　〇良い動きの明確化

【１単位時間の流れ】

め あ て の か く に ん

↓

準 備 運 動

↓

活動的な運動遊び

↓

静的な運動遊び

↓

対話的な運動遊び

↓

整理運動･振り返り

【授業風景】

まずは準備運動。思い切り大きく、体を動かそう。体じゃんけん、じゃんけんぽい！

どんじゃんけんぽん！素早く走るよ。自分のチームも相手のチームも頑張れ！

全員で体ドミノをしよう。心を合わせて、順番に倒れていくよ。うまくできたらみんなでハイタッチ！

頭や体に汗をいっぱいかいたよ。思い切り動いたから足が疲れたよ。みんなと遊ぶことって楽しいな。

【児童の変容　授業前】

・全員で「仲良く運動遊びに取り組む」ということが難しかった。ルールが分からず不安で参加しない、勝敗にこだわることで友達に手が出るなどの姿が見られた。

・実態調査では、２５パーセントの児童が１日の運動時間が３０分未満であると答え、休み時間に外遊びに行きたがらないことがあった。

【児童の変容　授業後】

・全員で仲良く運動遊びに取り組むためには、前向きな声掛けや態度が必要であることを学ぶことができた。どの運動遊びに対しても「もっとみんなで遊びたい」と楽しむ様子が見られた。

・休み時間には、クラス遊びや２年生との合同遊びに取り組むことで、校庭で思い切り体を動かす児童の姿が見られた。